

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスWeppy		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 16日		R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	R8年 1月 16日		R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフが多職種のため、様々な角度から利用児童の状態を捉える事が出来る。	毎日終礼で日々変化する利用児童の様子を共有・分析し、支援を行なっている。そのため保護者様にも現状をきちんとお伝えすることが出来る。	研修等により職員のスキルアップを続けていく。
2	一戸建てで家庭的な雰囲気ですリラックスして過ごすことが出来る。	視覚の刺激や室内の温湿度管理をしっかりと行い、子ども達が落ち着いて過ごせる環境作りを行なっている。さらに音楽により子ども達の感情コントロールをサポートしている。	引き続き快適な空間作りを行なって行く。
3	多機能型なので幅広い年齢のお友達と交流ができる。	児童発達支援の利用児童は、小学生以上のお友達の様子をみて真似をすることで、発達が促され、放課後等デイサービスの利用児童は年齢が低いお友達への思いやりなど情緒が豊かになるように声かけや支援を行なっている。	現在の支援を続けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の場所が目立たないため認知度が低い。	積極的な情報発信を行っていない。	療育を必要としている人に情報が届くように工夫していきたい。
2	経営的な面からこれ以上スタッフの増員が出来ない。	報酬改定を行なって貰いたい。	報酬改定を行なって貰いたい。
3	身体を思いっきり動かす機会が少ない。	条件の揃ったときには公園などに行き屋外活動を行なっているが、屋内では運動の種類が制限されてしまう。	これまで通り屋外活動ができる条件が揃った時には、思いっきり身体を動かせる機会を作っていく。